



農業景況DI 上半期は多くの 業種で大幅改善

5業種でプラスに転化

— 2015年上半期 農業景況調査 —

日本公庫の農業資金をご利用いただいているお客さまを対象に、2015年上半期の農業景況調査を行いました。結果概要を紹介します。

ら、マイナス幅が縮小しましたが、他業種と比べるとDI値は依然として低い状況にあります。

養豚(六七・五↓五二・八)は、価格が高止まりしていることへの警戒感もあり、一四・七ポイント下落しましたが、一四年に続いて全業種で最も景況DIが高い結果となりました。

乳価が引き上げられた酪農(北海道▲四・一↓一七・九、都府県▲三〇・九↓▲〇・三)についても、大幅に改善しました。

一方、国内消費量の減少などで販売価格が低迷している茶(▲五・〇↓▲六一・五)は、多くの業

種で景況DIが大幅に改善する中、改善が見られませんでした。

生産コストDIはマイナス幅改善

二〇一五年上半期の生産コストDIは、一四年(▲六六・三)から九・五ポイント改善し▲五六・八となりました(図2)。

円安が進行した影響で生産資材の価格は高止まりしていますが、昨年後半から原油価格が下落し続けたため、生産コストDIに改善が見られたと考えられます。

一五年の半年経過時点での設備投資見込みDIは、一五年一月調査時(▲三一・一)より二六・一ポ

多くの業種で大幅改善

二〇一五年上半期の農業全体の景況感を示す景況DIは、前回調査(二〇一五年一月)の▲三三・七(二〇一四年通年実績)から二四・六ポイント上昇して▲九・一と大幅に改善しました(図1)。

業種別では、販売価格が堅調に推移した露地野菜(▲一五・七→一〇・一)および施設野菜(▲八・四→一五・八)、施設花き(▲三四・四→一・二)、きのこ(▲二〇・七→八・三)、肉用牛(▲一・二→二六・二)の景況DIが大幅に改善し、プラス値に転じました。

稲作は、北海道(▲六七・二→▲三七・七)、都府県(▲七一・〇→▲

図1 景況天気図

経営部門	2014年	2015年	2015年	
	実績(注2)	上半期実績	通年見通し	
農業全体	▲33.7	▲9.1	▲12.2	
耕種	稲作(北海道)	▲67.2	▲37.7	▲55.8
	稲作(都府県)	▲71.0	▲43.0	▲39.7
	畑作	▲5.3	▲0.6	▲13.2
	露地野菜	▲15.7	10.1	4.1
	施設野菜	▲8.4	15.8	19.6
	茶	▲55.0	▲61.5	▲62.8
	果樹	▲12.7	0.0	0.6
	施設花き	▲34.4	1.2	6.9
	きのこ	▲20.7	8.3	20.2
	酪農(北海道)	▲4.1	17.9	17.9
酪農(都府県)	▲30.9	▲0.3	8.2	
畜産	肉用牛	▲1.2	26.2	18.4
	養豚	67.5	52.8	20.7
	採卵鶏	28.6	31.1	19.8
	ブロイラー	10.4	23.6	16.4

(注1) [DIの値とお天気マークの関係]

☂ ≤ -50 < ☔ ≤ -20 < ☁ ≤ -5 < ☀ < 5 ≤ ☀ < 21 ≤ ☀

(注2) 2014年実績は2014年通年の実績

イント上昇し▲五・〇となりました(図3)。

茶とプロイラーを除き、ほとんどの業種で大幅に改善しました。好調な養豚(一一・八↓三七・四)が最も高い結果となったほか、施設野菜(▲三〇・八↓二二・二)、きのこ(▲二六・八↓一五・七)、肉用牛(▲一七・八↓〇・七)でプラス値に転じました。

見通しDIIは上昇

一五年通年の農業全体の見通しDIIは、一四年(▲三三・七)より二一・五ポイント上昇し、▲二二・二となりました(図1)。

一五年上半期が好調な露地野菜(▲一五・七↓四・二)、施設野菜(▲八・四↓一九・六)、施設花き(▲三・四↓六・九)、きのこ(▲二〇・七↓二〇・二)、酪農(北海道▲四・一↓一七・九、都府県▲三〇・九↓八・二)、肉用牛(▲一・二↓一八・四)など大半の業種で一四年と比べ大幅に改善する見通しとなりました。

稲作については、北海道(▲六七・二↓▲五五・八)、都府県(▲七一・〇↓▲三九・七)といずれもマナス幅が縮小しましたが、他の業種と比べると見通しDIIは、いまだ低い状況にあります。

図2 生産コスト天気図

経営部門	2014年		2015年		
	実績(注2)		上半期実績		
農業全体	▲66.3	↗	▲56.8	☂	
耕種	稲作(北海道)	▲69.0	↗	▲62.0	☂
	稲作(都府県)	▲53.2	↗	▲50.4	☂
	畑作	▲78.2	↗	▲67.7	☂
	露地野菜	▲67.5	↗	▲59.9	☂
	施設野菜	▲63.4	↗	▲52.3	☂
	茶	▲72.5	↗	▲25.6	☂
	果樹	▲67.0	↗	▲51.8	☂
	施設花き	▲72.8	↗	▲55.6	☂
	きのこ	▲74.4	↗	▲59.5	☂
	酪農(北海道)	▲80.4	↗	▲72.5	☂
酪農(都府県)	▲83.6	↗	▲75.7	☂	
畜産	肉用牛	▲81.9	↗	▲73.8	☂
	養豚	▲59.8	↗	▲42.7	☂
	採卵鶏	▲78.6	↗	▲54.7	☂
	プロイラー	▲59.7	↗	▲54.5	☂

図3 設備投資見込み天気図

経営部門	2014年		2015年		
	実績(注2)		上半期実績		
農業全体	▲31.1	↗	▲5.0	☂	
耕種	稲作(北海道)	▲47.9	↗	▲13.4	☂
	稲作(都府県)	▲35.1	↗	▲6.5	☂
	畑作	▲25.6	↗	▲1.3	☂
	露地野菜	▲30.4	↗	0.0	☂
	施設野菜	▲30.8	↗	2.2	☂
	茶	▲39.4	↘	▲43.6	☂
	果樹	▲36.6	↗	▲17.1	☂
	施設花き	▲47.4	↗	▲21.8	☂
	きのこ	▲26.8	↗	15.7	☂
	酪農(北海道)	▲27.2	↗	▲15.6	☂
酪農(都府県)	▲14.4	↗	▲3.1	☂	
畜産	肉用牛	▲17.8	↗	0.7	☂
	養豚	11.8	↗	37.4	☂
	採卵鶏	▲7.1	↗	▲5.7	☂
	プロイラー	▲4.5	↘	▲9.1	☂

■天気図の見方について

天気図は、次のようにして算出されたDI (Diffusion Index) と呼ばれる指標により作成しています。アンケートの各項目への回答は、「①良くなった ②変わらない ③悪くなった」から1つ選ぶ形式となっており、この3種類の回答数を計算し、その構成比(%)を用いて次式によりDIを算出します。「①良くなった」(%) - 「③悪くなった」(%) = DI

また、茶(▲五五・〇↓▲六一・八)はさらに悪化し、苦しい状況が続く見通しとなりました。

(情報企画部 藤嶋 吉宏)

●調査対象 二〇一五年六〜七月・郵送調査
 ●調査時点・方法 [調査概要]
 ●有効回答数 融資先(計二万三九五六先) スーパーL資金/農業改良資金
 六四九八先(回収率二七・一%)